

## 平成 26 年度近畿府県合同防災訓練（関西広域応援訓練）の実施結果

- 1 訓練日時 平成 26 年 10 月 19 日（日） 7 時 00 分～14 時 00 分  
【和歌山県津波災害対応実戦訓練の中で実施】

### 2 訓練想定

平成 26 年 10 月 19 日早朝、和歌山県南方沖でマグニチュード 8.7 の非常に強い地震による災害発生を受けて、関西広域連合広域防災局及び構成団体・連携県の職員による緊急派遣チーム（リエゾン）を結成し、和歌山県災害対策本部へ派遣。

また、多くの負傷者の発生に際し、和歌山県の要請により、和歌山県医薬品卸組合が広域で調達した医薬品の搬送が困難な事態が発生したため、関西広域連合構成団体及び連携県は、和歌山県からの要請に基づき、トラック協会等の協力により医薬品を八尾空港まで搬送し、その後自衛隊のヘリで八尾空港から旧白浜空港まで搬送した。

### 3 場所及び訓練内容

#### (1) 緊急派遣チーム（リエゾン）派遣訓練 [7 : 30～14 : 00]

場所： 和歌山県庁南別館（県災害対策本部）

内容： 被災地の情報収集、及び和歌山県からの支援要請を受け、広域医薬品の搬送支援の調整を実施。和歌山県災害対策本部会議への出席及び支援の報告。

#### (2) 広域医薬品搬送訓練 [7 : 00～9 : 25]

場所： 八尾空港（陸上自衛隊駐屯地）

内容： 応援府県トラック協会のトラック等が、医薬品卸業者（物流センター）で医薬品を積載し、八尾空港まで搬送。八尾空港にて、医薬品のコンテナボックスを自衛隊専用パレットに梱包して、自衛隊ヘリ（チヌーク）で旧白浜空港まで搬送。

#### (3) 南紀白浜空港での和歌山県津波災害対応実戦訓練の視察 [9 : 00～10 : 30]

場所： 南紀白浜空港（新空港）

内容： 旧白浜空港でのヘリ搬送医薬品の受入れ、白浜空港 SCU 開設・運営訓練、DMAT 活動訓練、各府県緊援隊ヘリによる傷病者等救出搬送訓練、MV-22 オスプレイによる DMAT 搬送等の視察

### 4 参加機関

#### (1) 緊急派遣チーム（リエゾン）派遣訓練

関西広域連合、滋賀県、大阪府、兵庫県、奈良県、堺市（計 6 名）

#### (2) 広域医薬品搬送訓練

滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、広域連合、兵庫県トラック協会、奈良県トラック協会（計 15 名）及び陸上自衛隊

#### (3) 和歌山県津波災害対応実戦訓練の視察

兵庫県、徳島県、奈良県、広域連合（計 5 名）

緊急派遣チーム派遣訓練（和歌山県庁）



広域医薬品搬送訓練（八尾空港陸上自衛隊駐屯地）



和歌山県津波災害対応実戦訓練の視察（南紀白浜空港）

